

新型コロナワクチンを打ってもらうときの説明のための書類

新型コロナワクチンを打ってもらうことについて

国と、市、町、村がする新型コロナウイルス（SARS-CoV-2 といいます）のためのワクチンを打つ仕事をしています。お金は全部国などがはらいますので、ワクチンを打ってほしい人はみんなただ（0円）でワクチンを打ってもらうことができます。このワクチンを打ってもらうことができるのは12歳以上の人だけです。

ワクチンが効くかどうかと、ワクチンを打つ方法

今回打つワクチンはファイザーという会社つったワクチンです。このワクチンを打ったら、新型コロナウイルスが原因で起こる病気（新型コロナウイルス感染症）にかからなくなります。

ワクチンを打ってもらった人と打ってもらっていない人を比べると、打ってもらった人の方が、新型コロナウイルス感染症にかかる人がすくないことがわかっています（ワクチンを打った人のうち95%が新型コロナウイルス感染症にかからなかったという報告があります）。

ワクチンの名前	コミナティ [®] 筋注
何にききますか？	SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）感染症にかからなくなる
ワクチンを打つ回数・ ワクチンを打つ間の 期間	2回（普通、1回目と2回目の間を3週間あけます） ※ワクチンは筋肉に打ちます
ワクチンを打ってもらう ことができる人	12歳以上の人（12歳よりちいさい人にこのワクチンがきくかどうか、安全かどうかはまだわかっていません）
ワクチンの量	1回0.3 mLで合計2回打ちます

- 1回目にワクチンを打ってもらった後、普通、3週間あけて、2回目のワクチンを打ってもらってください。（3週間以上間があいたときは、できるだけはやく2回のワクチンを打ってもらってください。）
- 1回目にこの（ファイザーという会社が作った）ワクチンを打ってもらった人は、2回目も必ずこのワクチンを打ってもらってください。
- このワクチンを打ってもらったあとで、体の中で十分な免疫（病気にかからなくなるしくみ）ができるのは、2回目のワクチンを打ってもらってから7日ぐらいたってからだということです。ワクチンを打ってもらたら新型コロナウイルス感染症にかからなくなるかどうかはまだわかっていません。ですから、ワクチンを打ってもらったあと、マスクをすとか、他の人と距離をとるとか、今までと同じように、新型コロナウイルス感染症にかからないように気をつけてください。

ワクチンを打ってもらうことができない人

つぎの1～4の人はこのワクチンを打ってもらうことができません。1～4にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみてもらうときに、かならず、1～4にあてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

1. まちがいに熱がある人（※1をみてください）
2. 重い急な病気にかかっている人
3. このワクチンに入っているものに強く反応する症状（過敏症といいます）（※2をみてください）がでたことがある人
4. 1～3以外の理由で、ワクチンを打ってもらってはいけないう状態の人

（※1）まちがいに熱があるというのは、普通37.5℃以上のことです。しかし、体温が37.5℃より低くても、いつもの体温と比べて、熱があると考えるばあもあります。

（※2）過敏症というのは次のようなものです。アナフィラキシーや、体中の皮膚や粘膜に症状が出る、息をするときに「ゼーゼー」といった音が聞こえる、息が苦しくなる、脈がはやくなる、血圧が下がるなどアナフィラキシーかもしれないという症状があるばあい

ワクチンを打ってもらうときに注意した方がいい人

次の1～6の人はこのワクチンを打ってもらうときに、注意したほうがいいです。1～6にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、1～6 あてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

1. 血が固まらないようにする治療を受けている人、血液の中の血小板が少なくなる病気（血小板減少症）にかかっている人や血が固まりにくい症状がある人
2. 免疫（病気にかからなくなるしくみ）がうまく働かない状態（免疫不全）になったことがある人、親や兄弟など近い関係の人（近親者）に、生まれたときから免疫不全になっている病気（先天性免疫不全症）の人がいる人
3. 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気や、体が十分に大きくなれないなどの元々の病気（基礎疾患）がある人
4. これまでにワクチンを打ってもらったあと、2日以内に、熱がでたり体中にできものがでたりするなど、アレルギーかもしれない症状がでたことがある人
5. これまでに、急に手や足がつっぱたり、体が動かなくなったりしたこと（「けいれん」といいます）がある人
6. このワクチンに入っているものにアレルギーがおこるかもしれない人

赤ちゃんがおなかにいる（妊娠中）か、妊娠しているかもしれない人、赤ちゃんにあなたの母乳をあげている人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんに見ってもらうときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。

このワクチンには、これまでのワクチンでは使ったことがないものが入っています。これまでに、薬で過敏症やアレルギーになったことがある人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。

ワクチンを打ってもらったあとに注意すること

このワクチンを打ってもらったあとは、次の1～3をまもってください。

1. このワクチンを打ってもらったあとは、15分以上（これまでに、ワクチンを打ってもらったときに、アナフィラキシーなどの重いアレルギーになったことがある人や、気分がわるくなったり、気を失ったりしたことがある人は30分以上）、ワクチンを打ってもらった施設で待ってください。もし、体の調子がわるくなったら、すぐにお医者さんに言ってください。（急におこるワクチンのわるい影響（副反応）といいますが）に対応することができます。
2. ワクチンの注射をしたところはきれいにしてください。ワクチンを打ってもらった日にお風呂にはいってもいいですが、ワクチンを注射してもらったところをこすらないでください。
3. ワクチンを打ってもらった日は、はげしい運動をしたり、たくさんお酒を飲んだりしないでください。

ワクチンを打ってもらったことによるわるい影響（副反応）について

1. このワクチンを打ってもらったときにおこる主な副反応は次のようなものです。注射をしたところがいたくなる、頭がいたくなる、関節や筋肉がいたくなる、つかれる、寒いと感じる、熱がでるなどです。とてもすくないですが、とてもひどい副反応にショックやアナフィラキシーがあります。このワクチンは、新しくつくったワクチンなので、まだわかっていない副反応が出るかもしれません。ワクチンを打ってもらったあとで、なにか症状がでたときは、いつもみてもらっているお医者さんに相談してください。
2. 報告はとも少ないですが、ワクチンを打ってもらった後に、軽い心筋炎や心膜炎が起こったことが報告されています（※）。ワクチンを打ってもらって数日以内に胸がいたくなったり、息が苦しくなったり、むくんだりしたばあいは、すぐに病院に行ってください。
（※）1回目にワクチンを打ってもらった後よりも、2回目にワクチンを打ってもらった後に起こった報告が多いです。また、若い人、特に男の人の報告が多いです。

ワクチンを打ってもらったことでおこった健康に関する問題のある問題を助ける制度（予防接種健康被害救済制度）について

ワクチンを打ってもらったときに健康被害（病気になったり、体に障害が残ったりすること）がおこることがあります。こうした被害はとてすくないですが、こうした被害をなくすことはできないので、被害をうけた人を助ける制度があります。

新型コロナウイルスワクチンを打ってもらったことで健康被害を受けた場合も、こうした救済制度を使うことができます（これは、予防接種法という法律で決まっています）。たとえば、病院などでかかるお金（医療費）や障害がある人がもらうことができる年金（障害者年金）をもらうことができます。こうしたお金をもらうためには、健康被害を受けたことを役所に教える必要があります。このことについて詳しいことは、あなたの住民票がある場所の市、町、村の役所に聞いてください。

新型コロナウイルスによる病気（新型コロナウイルス感染症）について

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV-2 というウイルスが原因でおこります。この病気になると、熱やせきができるなど、かぜによく似た症状がでます。症状が軽いときに治る人も多いですが、症状が重くなると、呼吸が苦しくなるなど肺炎の症状がひどくなって、死ぬこともあります。

これから打つ新型コロナウイルスワクチン（ファイザーという会社のワクチン）はどんなワクチンですか？

このワクチンは、メッセンジャーRNA（mRNA）を使ったワクチンです。SARS-CoV-2 というウイルスのスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞に入るために必要なタンパク質）をつくるための設計図になる mRNA を脂質の膜に包んでいます。このワクチンを打ってもらると、mRNA があなたの細胞の中に入り、この mRNA を使って細胞の中でスパイクタンパク質ができます。そして、そのスパイクタンパク質の働きを中和する抗体ができ、免疫を作るように命令がでて（細胞性免疫応答が働いて）、SARS-CoV-2 による感染症にかからないようになりますと考えられています。

このワクチンには、次のものが入っています。

効果があるもの	◇ トジナメラン（人間の細胞膜とくっつく働きがあるスパイクタンパク質全体の情報を伝える mRNA）
足したもの	◇ ALC-0315：[（4-ヒドロキシブチル）アザンジール] ビス（ヘキサ-6,1-ジール）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル） ◇ ALC-0159：2- [（ポリエチレングリコール）-2000] -N,N-ジテトラデシルアセトアミド ◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ◇ コレステロール ◇ 塩化カリウム ◇ リン酸二水素カリウム ◇ 塩化ナトリウム ◇ リン酸水素ナトリウム二水和物 ◇ 精製白糖